

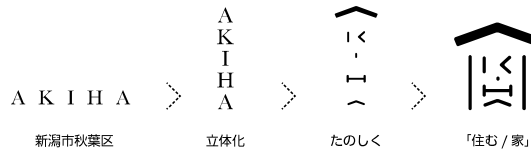


秋葉区 区ビジョンまちづくり計画

「アキハスムプロジェクト」との関係

秋葉区が取り組む「アキハスムプロジェクト」は、「住む」という視点で捉えた秋葉区の6つの魅力（里山・食・花・鉄道・川・歴史）を挙げ、これらを立体的にデザインすることで、秋葉区に「住む」価値などを提案し、移住・定住の促進を図る、住んでいる人も・住んだ人も「住んで良かった」と思えるプロジェクト。

区ビジョンに掲げる目指す区のすがた、それを実現するあらゆる施策・事業のすべてがアキハスムプロジェクトが掲げる理念の実現を果たすものであり、秋葉区の魅力向上と地域アイデンティティの醸成を目指します。



アキハスムプロジェクトのロゴデザイン

プロジェクトのロゴマークでは、AKIHAが集まり、立体化する事で、魅力を捉える視点とともに、「住む」の象徴である家、そこからうまれる嬉しさや誇りを表しています。



Akihaマウンテンプレーパーク



概要版

summary version

秋葉区 区ビジョンまちづくり計画 概要版(令和5年3月)

【編集・発行】新潟市秋葉区役所地域総務課
〒956-8601 新潟市秋葉区程島2009番地
TEL:0250-25-5672 FAX:0250-22-0228
E-mail:chiikisomu.a@city.niigata.lg.jp
ホームページアドレス:<https://www.city.niigata.lg.jp/akiha/>

新潟市秋葉区
ホームページ



区ビジョン
まちづくり計画
ホームページ



秋葉区 区ビジョンまちづくり計画 概要

区の将来像

里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち

計画期間

令和5年度(2023年度)から令和12年度(2030年度)



I 環境に配慮した 潤いとやすらぎのあるまち

- (1) 愛着と誇りを持てる里山文化の創造
- (2) 人と自然が調和した美しい景観の保全
- (3) 脱炭素社会の構築



- 多くの区民が集い、里山とまちが一体となった賑わいを創出し、愛着と誇りを持てる秋葉区ならではの里山文化の創造を目指すとともに魅力を発信していきます。
- 緑豊かな里山や河川などの恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐべき貴重な財産ととらえ、人と自然が調和した美しい景観の保全と活用を図ります。
- 多様な主体が、主体的にかつ協働しながら、環境に配慮したライフスタイルへの転換に取り組み、まちづくりと一体となった脱炭素社会の構築を推進します。



- 住民・地域・行政・学校が地域で連携・協働する、活気あふれる、楽しく、元気な、まちを目指します。
- 持続可能なまちづくりのため、区民との協働による、しなやかで柔軟な防犯・防災の地域づくりに努め、地域で助け合う安心・安全なまちを目指します。
- お互いを思いやる心、地域でともに助けあい支えあう心、自然にも人にもやさしい心を育み、笑顔ではつらつと暮らせるまちを目指します。
- 多様な主体が協働しながら、子育て・教育環境を創り、次世代を育み続けたいと思えるまちづくりを目指します。



II やさしさがあふれる 楽しく元気なまち

- (1) 産学官、地域が連携したまちなか活性化
- (2) 安心・安全なまちづくり
- (3) 人がつながりともに支えあうやさしいまち
- (4) 秋葉区の個性を活かして次世代を育むまち
- (5) 交通網の整備と持続可能な地域公共交通の確保
- (6) 協働によるまちづくり



III 歴史と個性を 活かすまち

- (1) 歴史ある文化や宝物の積極的な情報発信
- (2) 個性を活かした交流のあるまちづくり
- (3) 文化の継承と創造による文化活動の振興
- (4) 健康で豊かなスポーツ活動の振興



- 里山や鉄道、石油、花き・花木、町屋など、歴史ある文化や宝物を地域との協働により、積極的に情報発信するとともに、受入体制の充実を図ることで、移住・定住・関係人口を増やし、区の個性を活かした観光交流の盛んなまちを目指します。

- 秋葉区固有の文化の継承と創造による発展と、スポーツ活動の振興に努め、健康で心身ともに豊かに過ごせるまちを目指します。

- 秋葉区の恵まれた地域資源を活かし、農工商・産学官の連携による企業誘致を目指すとともに、新しい技術や産業を生み出し、新たな可能性が育ち定着するまちづくりを進めます。

- 全国屈指の花き・花木の園芸産地の価値を発信するとともに、魅力的な農産物のブランド化の推進や新技術の導入、担い手の育成に取り組み、安定した農産物の供給を目指します。

- 地域の暮らしや教育、産業など様々な分野でデジタル化を推進し、全ての人が孤立することなくメリットを享受できるまちを目指します。

- 秋葉区ならではの魅力の発信を強化し、働き方の変化による地方暮らしへの関心の高まりをとらえ、移住の促進と関係人口の創出を図ります。

IV 可能性を 生み出し・育て・活かすまち

- (1) 産業の振興
- (2) 全国屈指の園芸産地の魅力発信と環境にやさしい安心・安全な農作物の供給
- (3) 新潟薬科大学、商店街などとの連携
- (4) 関係人口の拡大と移住促進

